

バイオリジクス・フォーラム設立記念シンポジウム 「21世紀のバイオリジクスー開発と規制ー」

主催：バイオリジクス・フォーラム

共催：日本薬学会レギュラトリーサイエンス部会

日時 2003年2月7日（金）9:30~18:30（受付開始：9:00）

会場 江戸川総合文化センター 小ホール

（JR総武線 新小岩駅 徒歩15分）

〒132-0021東京都江戸川区中央4-14-1

TEL:03(3652)1111 FAX:03(3655)9935

<http://www.city.edogawa.tokyo.jp/shisetsu/bunka/bunka2.html>

会費 1,000円

Program

午前 バイオリジクス・フォーラムに期待するもの

早川 堯夫（国立医薬品食品衛生研究所）

米国におけるバイオリジクスの規制：伝統から未来への挑戦へ

Christopher JONECKIS（FDA-CBER:米国食品医薬品庁）

欧州連合におけるバイオリジクスの規制の進歩について

Alan MORRISON（EFPIA:欧州製薬団体連合）

バイオリジクスは「異質」である：カナダにおけるバイオリジクスの規制状況

Anthony RIDGWAY（Health CANADA:カナダ衛生省）

日本におけるバイオリジクスの規制状況について

佐藤 大作（厚生労働省）

午後 羊膜を用いた眼表面疾患の細胞治療

島崎 潤（東京歯科大学）

AAVベクターを用いた遺伝子治療

小澤 敬也（自治医科大学）

がん細胞パネルによる分子標的治療薬検索とオーダーメイド治療への基礎研究

矢守 隆夫（癌研究所）

休憩

トランスクロモ技術を用いたヒト抗体医薬開発

石田 功（キリン）

プロテオミクスを創薬研究に活かすには？

小田 吉哉（エーザイ）

バイオ最新潮流と産業化

宮田 満（日経バイオテク）

フォーラムの案内および閉会の言葉

山口 照英（国立医薬品食品衛生研究所）

お問い合わせ

国立医薬品食品衛生研究所 生物薬品部 川西 徹

〒158-8501東京都世田谷区上用賀1-18-1 TEL & FAX : 03-3700-9064

E-mail : kawanish@nihs.go.jp HP:<http://www.nihs.go.jp/dbcb/bioforum.html>

